

3 外部評価について

(1) 評価方法

ア これまでの経過

鎌倉市の外部評価は、平成 16 年度の事務事業外部評価の導入以降、継続して取り組んでいます。施策レベルの外部評価としては、平成 17 年度の施策評価（試行）から、平成 18 年度の施策進行評価（試行）を経て、平成 19 年度から施策進行外部評価を本格導入し、平成 20 年度からは政策・施策体系の評価可能な 27 分野の外部評価を実施してきました。政策・施策体系の評価により全分野に対する外部評価が可能となったことから、事務事業外部評価については、平成 22 年度に取組を中止しました。

平成 26 年度から第 3 期基本計画の計画期間がスタートし、第 3 期基本計画の施策体系に合わせ、平成 27 年度から新たな内部評価が行われています。一方で、外部評価については、これまでと同様に、全分野の外部評価を行う視点から、内部評価における全ての施策の方針及び計画の推進に向けた考え方を対象として、評価を実施することとしており、引き続き、平成 30 年度も同様に実施しました。

イ 鎌倉市民評価委員会

鎌倉市民評価委員会は、行政評価アドバイザーが兼ねる専門評価委員と、市政への関心と行政評価の取組へ理解のある市民評価委員からなる外部委員会です。現在評価委員として活動中の委員は以下の通りです。（【】内は本委員会での役職。）

(ア) 専門評価委員（行政評価アドバイザーが兼務。（）内は、主な専門分野等。）

- ・川口 和英【会長】（都市計画・地域計画に関する調査研究等）
- ・渡邊 公子（食育・NPO活動コーディネート等）

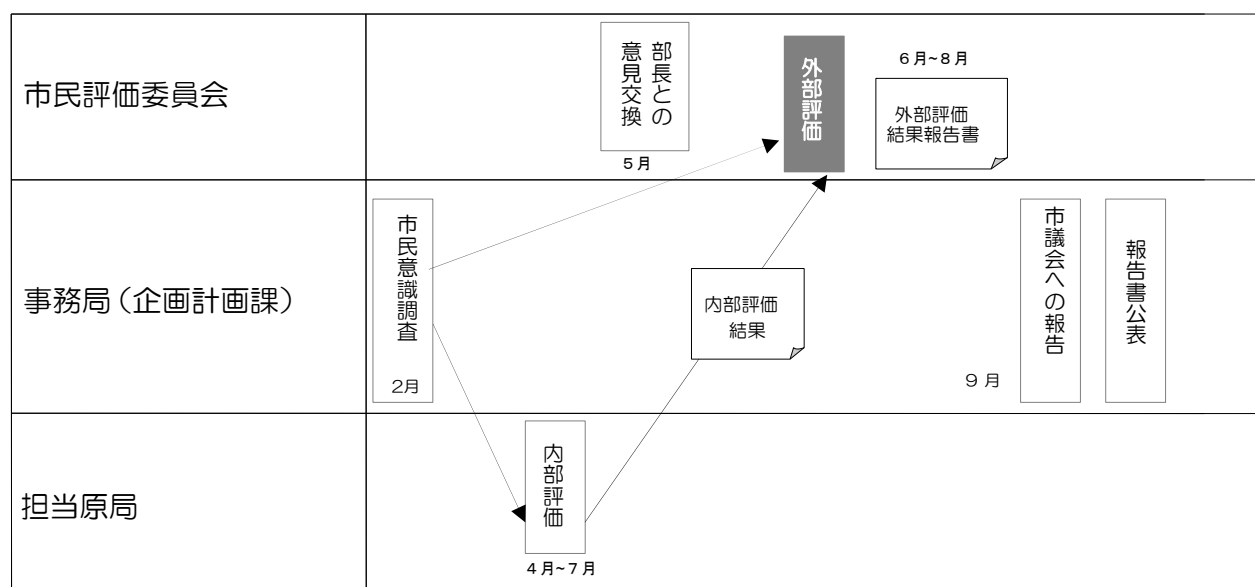
(イ) 市民評価委員

- ・柳生 修二【副会長】
- ・大隅 利啓
- ・奥野 知佳
- ・小田 扶抄江
- ・平本 恭子

(ウ) 平成 30 年度行政外部評価に係る鎌倉市民評価委員会日程・内容

	日 程	内 容
1	4 月 24 日 (201 会議室)	・委嘱式 ・会長及び副会長の選任について ・平成 30 年度市民評価委員会の進め方について ・委員会のスケジュールについて
2	5 月 8 日 (201 会議室)	部長との意見交換会①
3	5 月 15 日 (201 会議室)	部長との意見交換会②
4	6 月 5 日 (201 会議室)	【全体評価の意見交換】 歴史環境、生涯学習
5	6 月 12 日 (201 会議室)	【全体評価の意見交換】 みどり、都市景観、市街地整備、住宅・住環境、 下水道・河川、スポーツ・レクリエーション
6	6 月 19 日 (201 会議室)	【全体評価の意見交換】 防災・安全、総合交通、道路整備
7	6 月 26 日 (201 会議室)	【全体評価の意見交換】 文化、子育て、学校教育、青少年育成
8	7 月 3 日 (201 会議室)	【全体評価の意見交換】 平和、人権、多文化共生社会、生活環境
9	7 月 10 日 (201 会議室)	【全体評価の意見交換】 健康福祉、産業振興、観光、勤労者福祉、消費者対策
10	7 月 24 日 (201 会議室)	【全体評価の意見交換】 計画の推進に向けた考え方（市民自治、行財政運営、 歴史的遺産と共生するまちづくり） 【鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略】 関連事業の取組に関する意見交換
11	8 月 14 日 (201 会議室)	【平成 30 年度鎌倉市行政外部評価まとめ】

(I) 行政外部評価の流れ



ウ 平成30年度の取組

鎌倉市の行政外部評価は、既述の日程で開催された鎌倉市民評価委員会において専門評価委員と市民評価委員が事務局（共創計画部企画計画課）を交えて意見交換、議論を経て、第3期基本計画の施策の方針等ごとに外部の視点で評価しました。

平成30年度の行政外部評価は、第3期基本計画後期実施計画の初年度である平成29年度に実施した取組に対する評価として、全ての施策の方針等を対象に外部評価を実施しました。

また、平成30年度については、事業の進行管理、取捨選択及び平成32年度に策定する次期基本計画につながる指標（アウトカム指標）の設定の意識付けを行うことを目的に、第3期基本計画の51の「施策の方針」のうち、いくつかを取り上げ、それらの施策の方針に掲げられている「目標とすべきまちの姿」と各部で掲げた平成29年度の目標及びにその指標に関して、該当する「施策の方針」を所管する部長と市民評価委員会と意見交換を行いました。

(ア) 全体評価

第3期基本計画の施策体系の6つの将来目標に位置付けられる51の施策の方針及び3つの計画の推進に向けた考え方について、内部評価結果と関連資料を基に、外部の視点から施策の進捗を評価するものです。

平成 30 年度の全体評価では、専門評価委員と市民評価委員がそれぞれ市で作成した評価シートを参考に、平成 29 年度行政外部評価シートを作成し、評価委員会の議論を経て、各施策の方針等の評価を【取組の評価】、【効果の評価】、【評価できるところ】、【課題】、【提言】及び【質問】の 6 つの視点からとりまとめました。

a 【取組の評価】

「↑ 以前よりよくなった」、「↓ 以前の方がよかった」、「→ 以前と変わらない」の 3 つから選択

b 【効果の評価】

「○ まちの姿の実現に向け十分である」、「△ まちの姿の実現には不十分である」、「－ どちらともいえない」の 3 つから選択

c 【評価できるところ】

自由記述

d 【課題】

自由記述

e 【提言】

自由記述

f 【質問】

自由記述

(イ) 鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業に対する評価

平成 28 年 3 月に策定した鎌倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略に関連する事業について、特に地方版総合戦略に位置づけられた先駆性のある取組の円滑な実施を支援することを目的とした「地方創生推進交付金」の交付事業の「効果」の有無等を外部の視点から評価しました。

(2) 評価結果

鎌倉市民評価委員会による評価結果は次ページ以降、次のとおり示しています。

(3) 今後の鎌倉市民評価委員会について

平成 30 年度において、内部評価と外部評価をまとめた本報告書を 9 月議会にて報告後、平成 32 年度開始予定である第 4 期基本計画の策定にあたり、現行計画である第 3 期基本計画の検証を行い、鎌倉市の強み弱みを再認識し、より強化すべきポイントや改善すべき課題を抽出するとともに、今後の事業の方向性や成果を重視した行政運営を推進するための方策の検討材料としてきます。